

こんにちは 町長です

～新しい時代に対応する人材(役場職員)の育成について～



3月20日より新役場庁舎での業務がスタートいたしました。町民の皆様には長い間ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。そして新しい庁舎になった今、以前にも増してより良い町民サービスを提供することが求められています。

ご案内のように町の業務を遂行するのは役場職員です。職員一人ひとりが自分の業務に全身全霊をかけて取り組み、結果を出すことにより町民の安心安全な暮らしが守られ、町の活性化も図られることとなります。

現代の社会は国際化が進展し、技術革新のスピードがめざましい中で、未来の予測が難しい不確実の時代になっています。

そういった時代背景の中で、社会の変革を的確に捉え、また情報アンテナを高く張り、できる限り未来を予測しながら日々の仕事を改革していく職員が求められています。

そして、少子高齢化が急激に進む中、持続可能なまちづくりを実現するために必要な知見や創造力、ネットワークを持つ次世代人材の育成を図ることが急務となっています。

町では次世代人材(職員)の育成を更に強化するために、この度一般財団法人地域活性化センターと地域創生に向けた人材育成に関する連携協定を締結いたしました。地域活性化センターは、地方公共団体などの賛同を得て1985年に設立された法人で、地域づくりに関する調査研究やひとづくり(人材研修)などを実施しており、町ではこの4年間で2人の職員を地域活性化センターへ実務研修生として派遣を行いました。

現在の地域活性化センター理事長の椎川忍氏は、総務省で初代地域力創造審議官や自治財政局長を務められ、地域おこし協力隊の創設や定住自立圏構想の制度化に尽力され、地方創生の礎を築かれました。椎川氏は理事長就任後、地域活性化センターの理念である「地域づくりは人づくりから」を特に強化して人材育成に力を入れています。

私は、椎川理事長のまとめられた公務員十戒を絶えず職員に訓示し、目指すべき理想の職員像に向けて努力することを徹底しています。その公務員十戒を紹介します。

- 一 肩書きなしでも尊敬される人間になれ
- 二 常に健康チェックし、身体を鍛え、気力を充実させよ
- 三 うちにこもらず、広い世界に飛び出し、人脈を広げよ
- 四 仕事以外にプラスワンで社会貢献活動をせよ
- 五 現場主義で改革・改善を心がけ、常に一步前進せよ
- 六 公務員の最終ミッションを忘れるな
- 七 理屈ばかりこねず、まず実践せよ
- 八 権限を振りまわさず、いつも謙虚に行動せよ
- 九 仕事から逃げず、自分の責任を果たせ
- 十 上司にこびず、正しいと考えることをやり抜け



小鹿野町長
森 真太郎